

謀を構ふべし只約へりけり一陣中亂立つたところ
菟も兵もはたしめぬ攻む敵とて開を伴ふ野を
討め打ちけり十九の音過ちもは山の端あづる月逢く
し目さしむる暗くも燃えたる松の
前陣の味方と敵の違ふところ得て群くあつた味方と
追菟く敵く疑ひ同士討する限り一十
のりし討死二万五千人ふありねえんは敵に
後行より家と縁づくところ違ふなり
敵討して諸
軍とよみ後陣の敵と待てり二陣
柿原肥後勝幸寺田

主殿の整齊はゆかりあるを以て
観音寺木蓮と志守
金王忠義尉討以下軍を金く是陣の
敵とて討つ
ありし事と換ふ松の燐つと左なる
あり火とくし
は松の白くぬき光輝り一に攻む敵と
て討つ
其隙一町けりし
ふきあるは
俳句の
鏝形
あり
兜と指角とえり
葉をのめ
ぬさく
道
また
金く
敵多
る
二
反
斗
追
も
て
ち
き
り
け
り
は
多
く
一
敵
の
軍
將
は
誰
人
が
か
く
中
ま
は
た
敵
は
ま
の
た
く
き
る
と
は
の
盛
幸
と
し
の
者
なり
ぬ
州
と
は
て
四
天
王
と
中
や
山
也
を
た
ら
た